

# 福島経済マンスリー

5月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

## 1. 2018年5月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さに加え、公共投資や住宅投資が減少基調で推移するなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。		
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）は、百貨店が9カ月連続で前年を下回ったのに加え、スーパーが7カ月ぶりに前年を下回り、合計でも2カ月連続で前年を下回った。乗用車新車登録台数は、普通車、小型車、軽乗用車がいずれも前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が6カ月連続、請負金額と保証金額が2カ月連続で前年を下回った。震災前を上回る水準を維持しながらも、復旧・復興の進捗に伴い、基調としては減少が続いている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が2カ月連続、床面積と工事費予定額が3カ月ぶりに、いずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、分譲が4カ月ぶりに前年を上回ったものの、持家が2カ月ぶり、貸家が4カ月連続で前年を下回り、全体でも4カ月連続で前年を下回った。特に、震災後に急増した貸家の減少幅が大きくなっている。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整済指数）が△2.4%と3カ月ぶりに前月を下回った。業種別の前月比をみると、「電気機械工業」など6業種で上昇し、「情報通信機械工業」など13業種で低下した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.02ポイント、原数値が前年同月比+0.08ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△3.6%と4カ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は4月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年12月	2018年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.7	0.0	0.5	0.4	△ 0.0	△ 1.5
	乗用車新車登録台数	△ 10.7	△ 0.7	△ 5.2	△ 6.4	△ 2.6	△ 5.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 52.0	△ 32.3	△ 17.3	12.9	△ 3.2	△ 57.9
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	2.5	△ 53.4	10.1	△ 8.4	△ 27.8	71.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 19.8	5.4	△ 5.3	△ 30.9	△ 19.9	△ 30.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	r 3.3	r △ 1.3	r △ 6.2	r △ 4.2	△ 3.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.07	0.08	0.07	0.04	0.07	0.08
	雇用保険受給者実人員	2.3	0.1	△ 5.3	△ 6.6	△ 1.7	△ 3.6

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年12月	2018年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	26.3	△ 17.3	△ 10.8	11.6	△ 4.9	2.3
	乗用車新車登録台数	△ 12.4	15.5	8.3	59.3	△ 49.1	△ 0.8
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	22.6	△ 3.3	△ 9.6	91.4	△ 26.8	△ 39.9
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 9.2	△ 19.4	△ 3.8	37.5	46.4	△ 30.1
住宅投資	新設住宅着工戸数	7.7	△ 18.0	4.3	△ 24.4	44.9	△ 37.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	r 2.0	r △ 7.6	r 1.7	r 5.5	△ 2.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.02	0.01	△ 0.02	0.02	0.02	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 6.6	△ 0.2	△ 5.6	1.3	△ 0.9	22.0

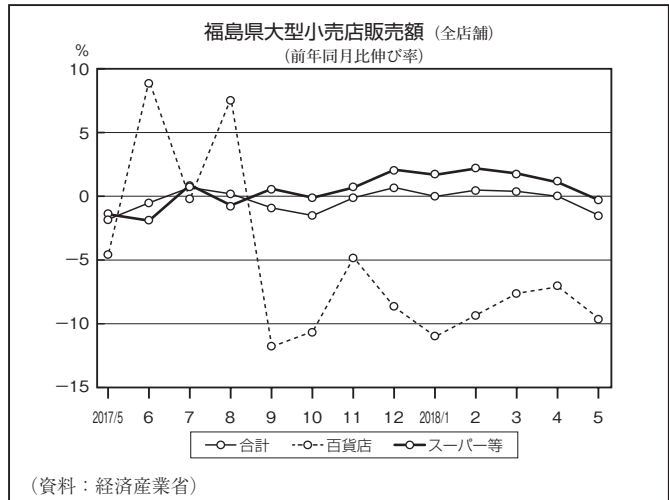
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

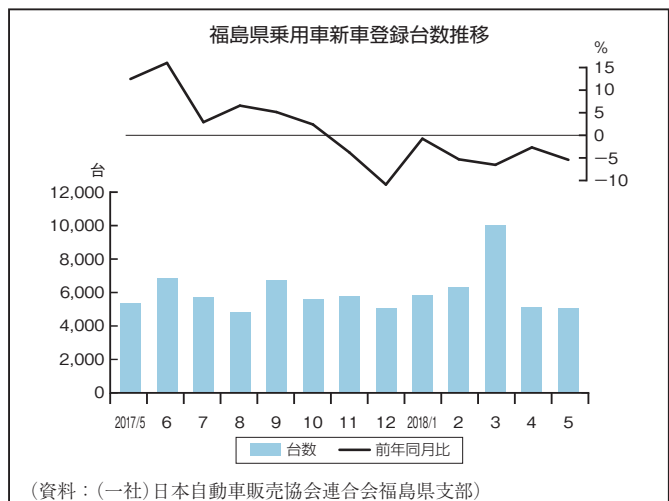
##### 大型小売店：2カ月連続で前年比減

5月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で206億37百万円（前年同月比△1.5%）と2カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△9.6%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回ったことから、合計では同△0.3%となった。



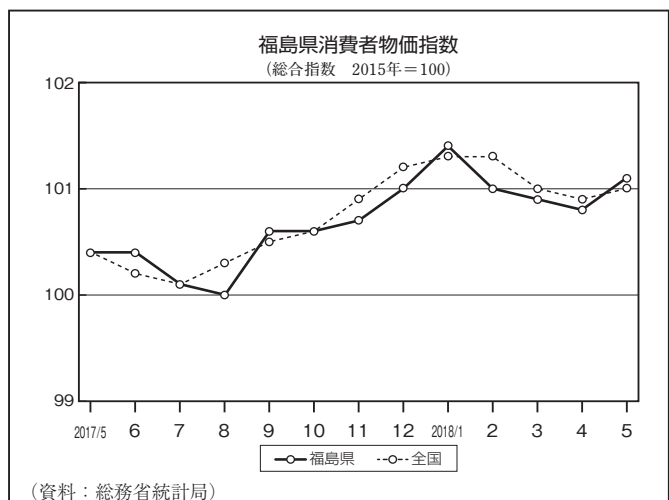
##### 乗用車販売：7カ月連続で前年比減

5月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,065台（前年同月比△5.3%）と、7カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,617台（同△9.1%）で5カ月連続、小型車が1,463台（同△4.4%）で8カ月連続、軽乗用車が1,985台（同△2.7%）で3カ月ぶりに、いずれも前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

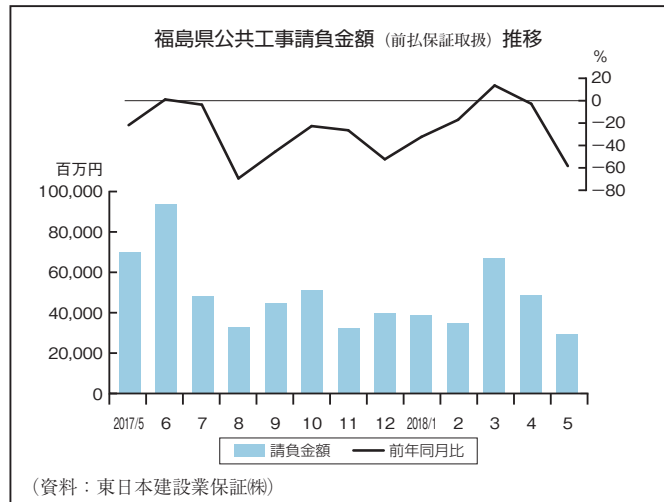
5月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が101.1で前年同月比+0.6%、前月比+0.3%となった。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の99.4（同+0.8%）など7費目で上昇し、下降したのは「教育」の103.0（同△0.2%）など2費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月連続で前年比減

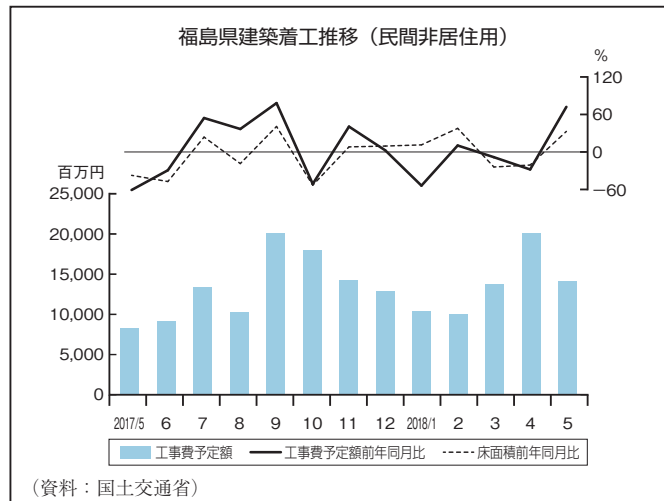
5月の公共工事前払保証取扱は、件数が388件（前年同月比△10.2%）で6カ月連続、請負金額が295億73百万円（同△57.9%）で2カ月連続、保証金額が130億33百万円（同△66.2%）で2カ月連続と、いずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は3カ月ぶりに前年比増

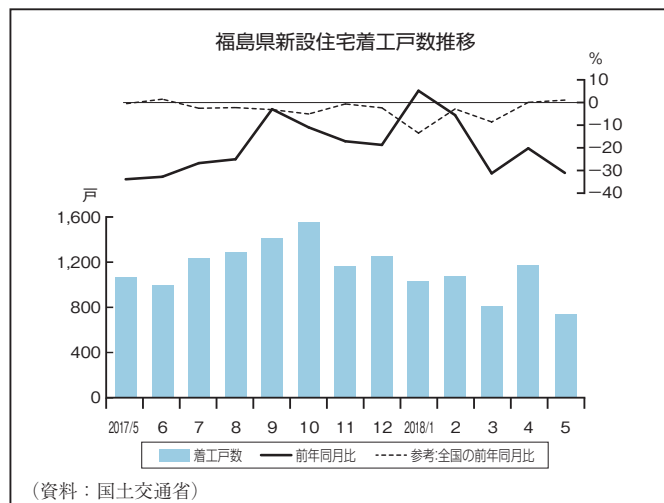
5月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が184棟（前年同月比+15.7%）で2カ月連続、床面積が72,589㎡（同+32.4%）で3カ月ぶり、工事費予定額が140億95百万円（同+71.2%）で3カ月ぶりに、いずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は4カ月連続で前年比減

5月の県内新設住宅着工戸数は、740戸（前年同月比△30.7%）と4カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が152戸（同+13.4%）で4カ月ぶりに前年を上回ったものの、「持家」が427戸（同△20.9%）で2カ月ぶり、「貸家」が160戸（同△59.4%）で4カ月連続と、ともに前年を下回った。

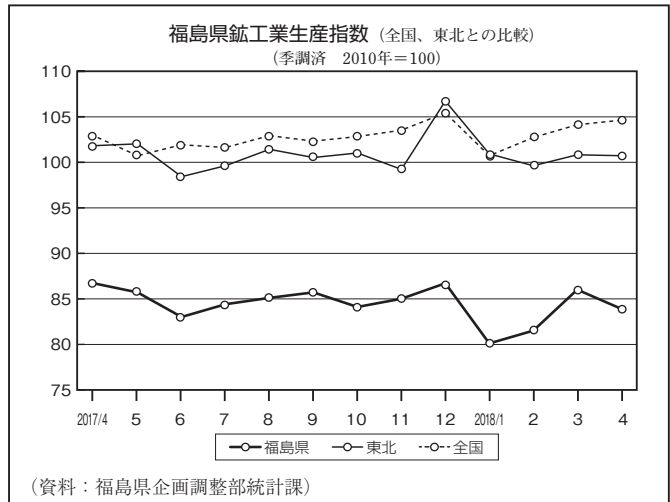


生産活動

※鉱工業生産指数は4月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに低下

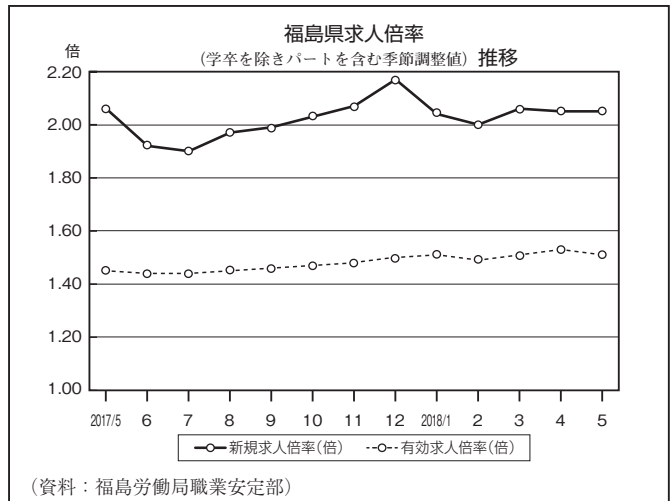
4月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は83.9で前月比△2.4%と3カ月ぶりに前月値を下回った。一方、原指数は80.2で前年比△3.3%と4カ月連続で前年値を下回った。業種別の季節調整済指数をみると、「電気機械工業」（前月比+34.9%）など6業種で上昇し、「情報通信機械工業」（同△16.7%）など13業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下、前年比上昇

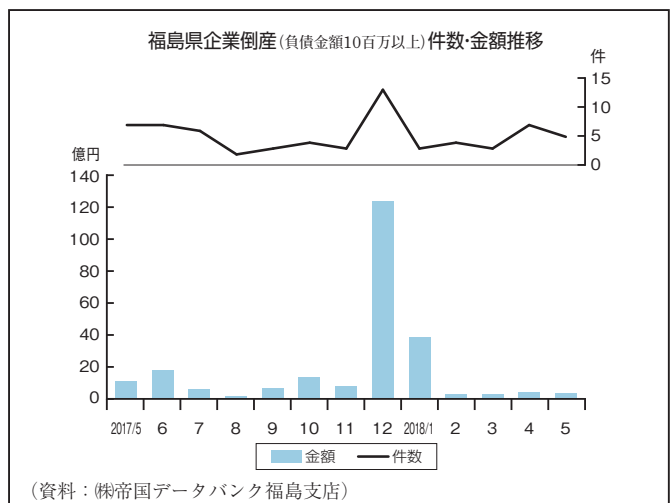
5月の新規求人倍率は、季節調整値が2.05倍（前月比±0ポイント）、原数値が1.81倍（前年同月比+0.04ポイント）となった。また、5月の有効求人倍率は、季節調整値が1.51倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.37倍（前年同月比+0.08ポイント）となった。一方、5月の雇用保険受給者実人員は6,647人（前年同月比△3.6%）と4カ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比減

5月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が5件（前年同月比△28.6%）、負債総額が3億37百万円（同△69.0%）でともに前年を下回った。業種別では、サービス業で2件、建設業、卸売業、小売業で1件ずつとなった。

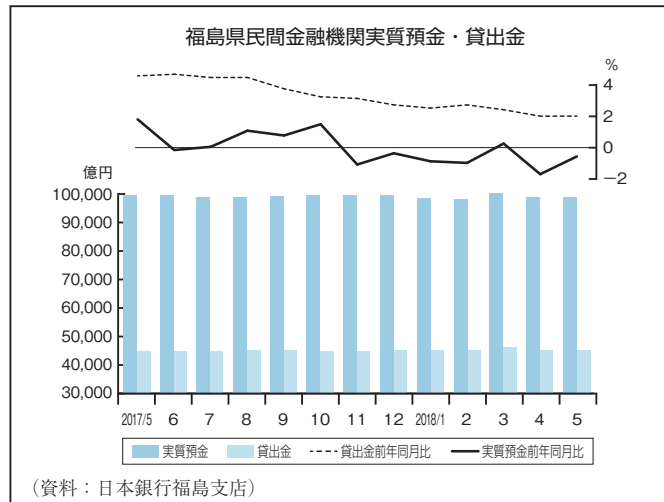


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の5月末の実質預金残高は、9兆9,191億円（前年同月比△0.6%）と2カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,404億円（同+1.9%）と5年（60カ月）連続で前年を上回っている。

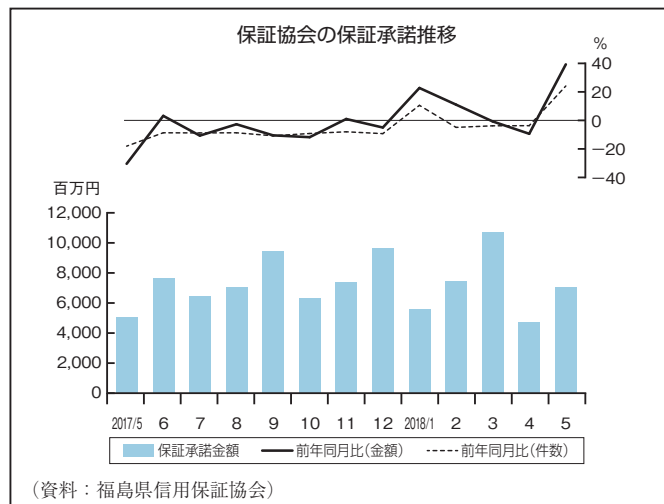
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比増

5月の保証承諾は、件数が612件（前年同月比+24.1%）、保証金額が70億3百万円（同+39.3%）となった。また、5月末日現在の保証債務残高は、件数32,767件（同△9.7%）、金額2,767億69百万円（同△10.5%）となった。

一方、5月中の代位弁済は、件数が12件、金額が1億59百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電大型専門店** 5月の家電大型専門店の売上高は、テレビやスマートフォン、洗濯機などが前年を上回ったものの、合計では前年比ほぼ横ばいとなった。

**ホームセンター** 5月のホームセンターの売上高は、天候不順の影響などから園芸・農業資材、植物などが前年比減少し、合計でも前年を5%ほど

下回った。

**旅行** 5月の個人旅行取扱額は、国内旅行が前年を5%ほど上回った。一方、海外旅行はハワイ、アジア、ヨーロッパを中心に旅行単価の上昇がみられ、取扱額は前年の約2倍となった。

**高速道路** 5月の県内自動車道出入口数は、合計で4,858,858台（前年同月比△10.3%）と、5カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,614,180台（同△1.1%）で2カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が594,069台（同△10.5%）で



2カ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が368,754台（同△9.0%）で3カ月連続、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）が1,281,855台（同△24.7%）で9カ月連続と、いずれも前年を下回った。

**福島空港** 5月の福島空港国内定期路線の利用客数は、20,691人（前年同月比+0.3%）と2カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、札幌便が5,245人（同△9.0%）で2カ月ぶりに前年を下回ったものの、大阪便が15,446人（同+4.0%）と5カ月連続で前年を上回った。（国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

※企業ヒアリング等による結果

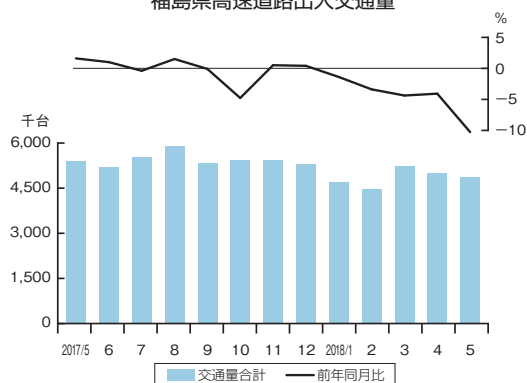
**化学** 5月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けの需要が旺盛であるのに加え、家庭用製品も堅調に推移するなど、生産水準は前年を上回っている。

**鉄鋼・金属** 5月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が前年をわずかに下回ったものの、自動車向け端子材が前年を5%ほど上回るなどし、全体でも前年をやや上回った。5月の建機用鋳造品の生産は、需要拡大が続き前年を50%ほど上回った。5月の鋳鋼品の生産は、トラックやトレーラーなどの自動車関連部品が前年を60%ほど上回る一方、バルブ部品は前年を5%ほど下回った。

**輸送用機械** 5月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を上回る生産水準を維持している。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

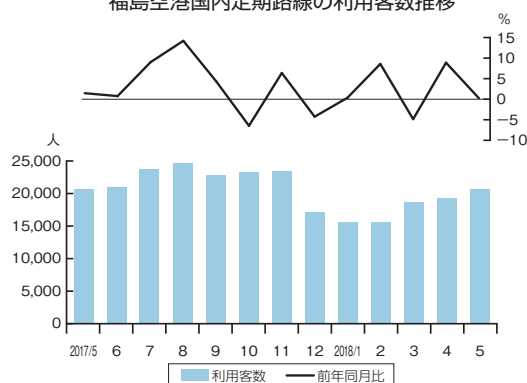
**電気機械** 5月の電気機械の生産は、変圧器や車載モータが前年を上回ったものの、配電盤などが

福島県高速道路出入交通量



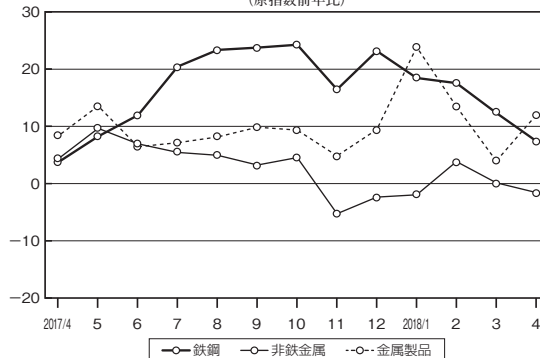
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



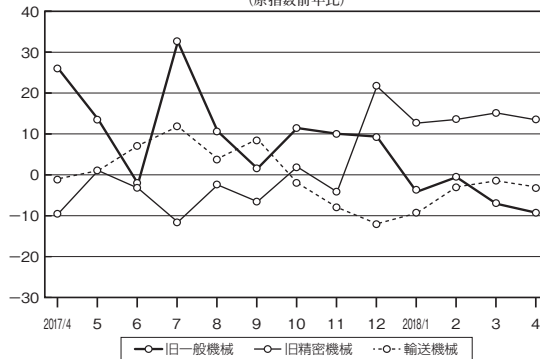
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)  
(原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)  
(原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

前年を下回り、合計でも前年をわずかに下回った。

**情報通信機械** 5月の情報処理装置の生産は、前年をやや下回ったものの、引き続き受注状況は安定している。

**電子部品・デバイス** 5月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年比で20%ほど増加し、前月比でもやや上回るなど、需要回復による生産増加が続いている。

**精密機械** 5月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を5%ほど上回った。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内に加え中国など国外での需要が高まっており、フル稼働の生産が続いている。

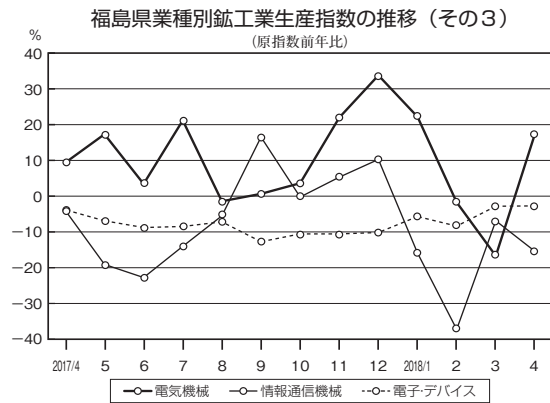
**窯業・土石** 5月の生コンクリート出荷量は、全体で137,891m<sup>3</sup>（前年同月比△0.4%）と3カ月連続で前年を下回った。地域別にみると、官公需では復興が進む相双地域といわき地域が前年を上回った。一方、民需では県北地域、県中地域、会津地域が前年を上回った。

**紙・紙加工品** 5月の製紙の生産は、ノーカーボン紙の需要減少に加え、感熱紙も前年を下回り、全体では前年を5%ほど下回った。

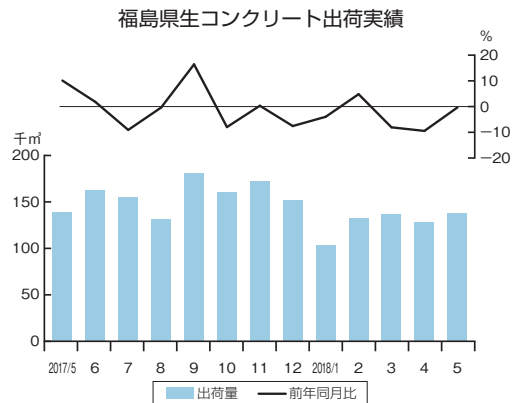
**清酒** 5月の清酒移出数量は、865kL（前年同月比△5.3%）と3カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が392kL（同△9.4%）で3カ月連続、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が473kL（同△1.6%）で2カ月ぶりと、ともに前年を下回った。

**化合繊維物** 5月の化合繊維物は、生産額が前年を30%ほど上回り、好調な生産を維持している。

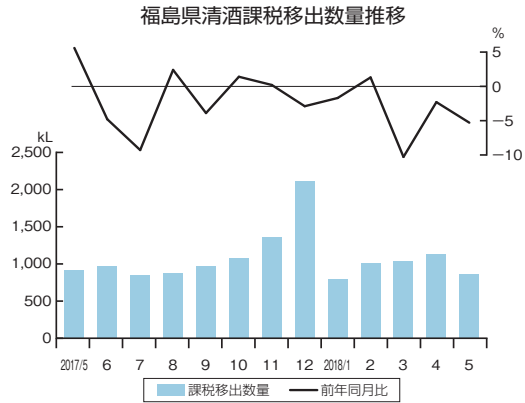
**ニット** 5月のニットは、秋冬物のサンプル品の生産が中心となり、生産額は前年比ほぼ横ばいとなった。



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)